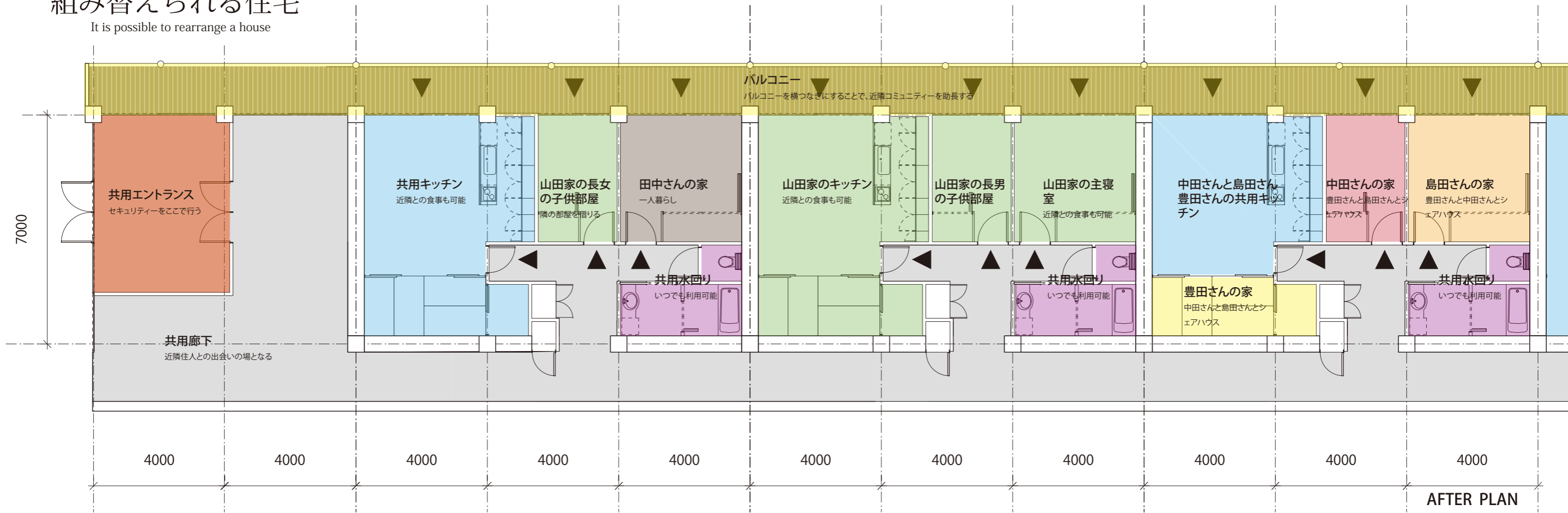


組み替えられる住宅

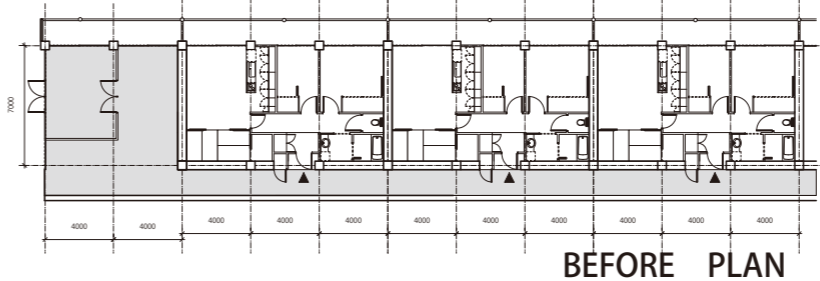
It is possible to rearrange a house



CONCEPT

現在多種多様な家族形態、ライフサイクルや、ライフスタイルがあり、それらは時間軸とともに変化する。しかし、現在の住宅形式はそれに対応できていない。今回パッケージ化された住宅形式を分解し、居室ごとに供給することでこの問題を解決する。これにより、子供の誕生・成長などにより居室の必要数が変化したときに居室だけを借りることで、一般的な住まい方やコレクティブハウス、シェアハウス、または、自分の子供が隣の家に住む、など多様な住まい方が可能となる。

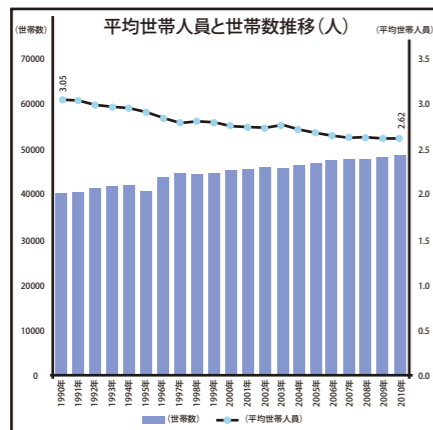
SITE



全国どこにでもある集合住宅を選択した。共用エントランスには自動ロック扉があり、住戸は東西伸長、南面からの採光を取る建物である。

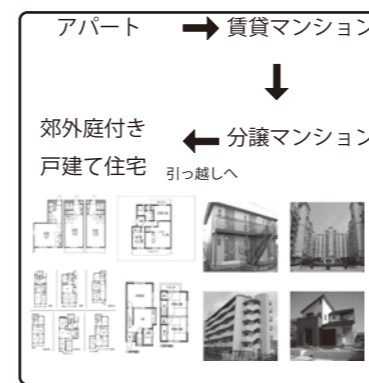
世帯人員

全国の世帯人員は既に3を切り2.60であり、東京では2.17人となっており全国最低水準である。そうなった現在、核家族中心の住宅供給でなく、単身生活や家族形態の変化にも対応できるような供給が必要だと考える。

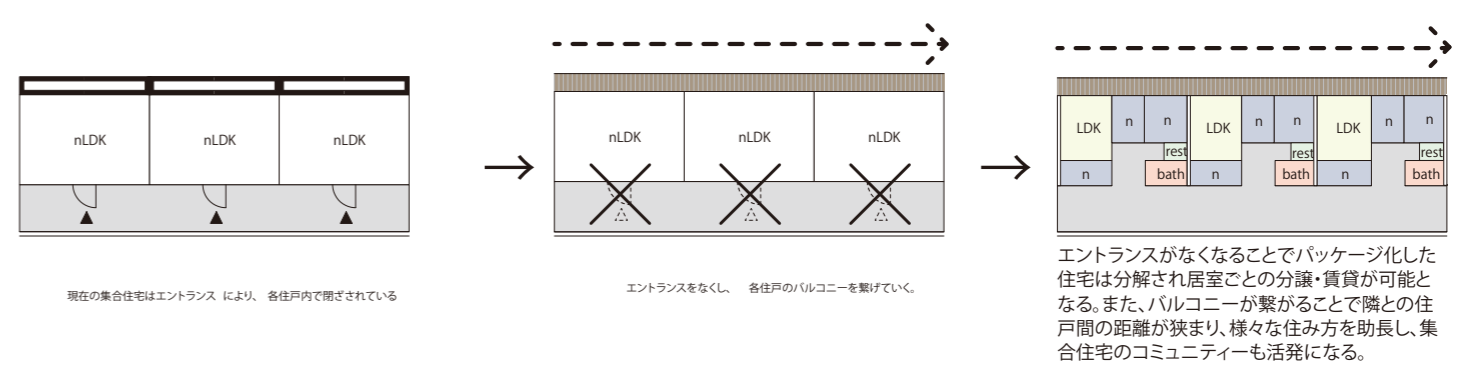


住宅スゴロク

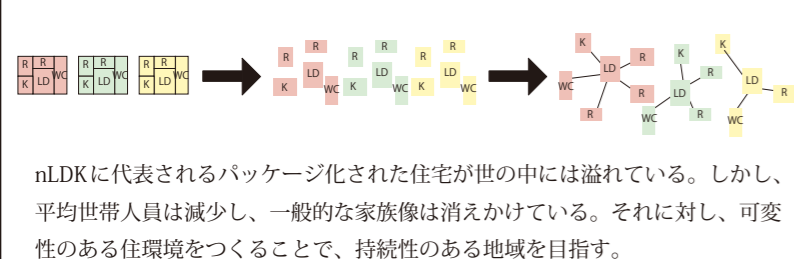
現在家族の住形態それぞれに用意されたパッケージとして住宅が供給されている。しかし、家族構成やライフスタイルが変化した場合には住宅の転居に直結してしまう。それは住宅スゴロクと言われる現在の住形態を表している。近年まで郊外の庭付き一戸建てで住宅スゴロクが上がりだったが最近では都心回帰が顕著に見られ、ますます定住が難しくなり、それにより、地域コミュニティも希薄になっている。



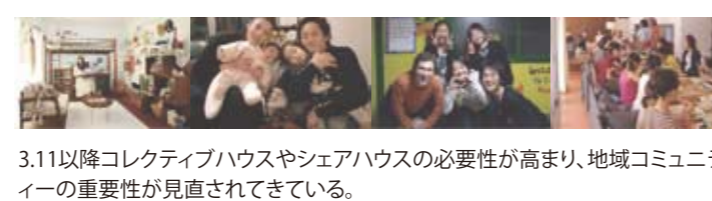
DIAGRAM



組替可能な住宅・サスティナブル地域



住まい方の汎用性



一般住宅とコレクティブハウスやシェアハウスの間の住まい方



rc CCP22504 武久忠正